

生涯学習

戦争遺跡で地域再生

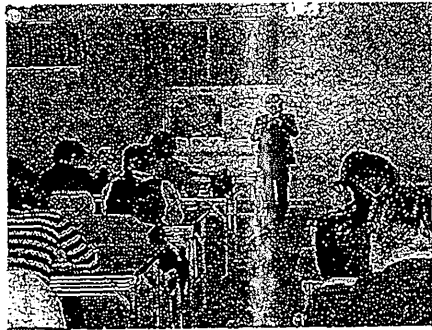
南房総・安房の歴史・とどめめ地を掘り出し、自然を掘り起こし、地域を再生しよう

「フォークロム」教師と市民のしゃべり場、安房の高校教育を考える「千葉真南房総・安房組合(安房支部主催)が、3月21日、千葉県館山市のなごもま海軍ホテルで開かれた。参加者は、南房総地区の高校教師と地域住民、そして、千葉真南房総地区の聖徳大学の学生、さらには同市の地産を扱う全国生涯学習まちづくり協会のメンバー。フォーラムでは、地元NPOが南房総地区の戦争遺跡の発掘調査の経緯などを紹介したあと、参加者全員で太平洋戦争が使われた

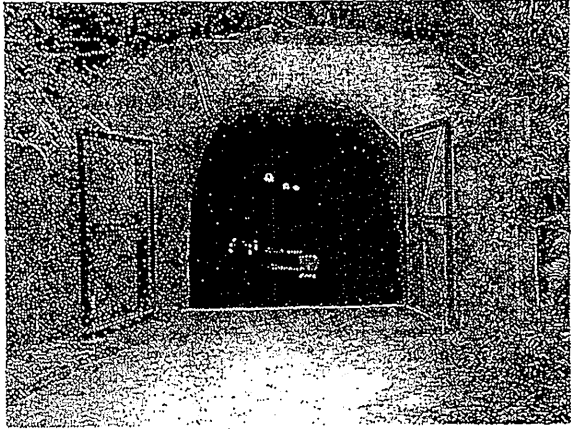
近・現代では、日清・日露戦争からマニラ太平洋戦争に至るまで、重要な軍事基地となっていたことから、現在も貴重な戦争遺跡が数多く残っている。

謎の「地下壕」も視察

千葉県館山市で地域資源を活用 高校教師、市民、NPOがフォーラム



館山市の海上自衛隊艦艇に、太平洋戦争の終り頃、米軍による空爆が激しくなっていた。



山航空基地の南側には「赤山」と呼ばれる小高い岩山があるが、その中に総長1・6センチ及び地下壕が埋められている。この壕は、1940年代の中頃に秘密裏に建設されたといわれている。このように大きな地下壕が1941年の太平洋戦争前に造られた例はほとんどない。それに関する資料が確認されていない。この壕は、1940年代の中頃に秘密裏に建設されたといわれている。このように大きな地下壕が1941年の太平洋戦争前に造られた例はほとんどない。それに関する資料が確認されていない。

「赤山」と呼ばれる小高い岩山があるが、その中に総長1・6センチ及び地下壕が埋められている。この壕は、1940年代の中頃に秘密裏に建設されたといわれている。このように大きな地下壕が1941年の太平洋戦争前に造られた例はほとんどない。それに関する資料が確認されていない。

な地下壕

戦争遺跡の存在を多くの人に訴える元高校教師の愛沢伸雄さん……
め、造られた時期も目的も明確ではない。
ただ、この壕が、太平洋戦争の終り頃、米軍による空爆が激しくなっていた。

公認されたからの入場者は1万5000人以上、今年1月には館山市から文化財の指定を受けている。

な地下壕